

白熱灯照明の気をつけるポイント

(平成 28 年 12 月 26 日作成)

○白熱灯照明の近くに可燃物（草木なども含む）を置いたり、器具や電球を布や紙等で覆ったりしない。

白熱灯照明は、照明器具の中でも、たくさんの熱を発する照明です。白熱灯照明の近くに可燃物を置くと、加熱され着火するおそれがあるため危険です。また、器具や電球を布などで覆うと放熱が妨げられ、器具が過熱して火災の原因となります。

○取扱説明書や表示を確認して、各照明器具に適合した電球を使用する。

照明器具には、使用できるランプの種類（白熱電球、蛍光灯、LEDランプなど）やワット数（消費電力の大きさ）が決められています。またレフランプ用の器具にそれ以外の白熱電球は使用できません。指定外のランプを取り付けて使用すると、器具本体の過熱により周辺が過熱され、天井裏等気づかないところで大きな火災となるおそれもあるため、危険です。

（参考）投光器を使用したときの周囲の温度上昇について

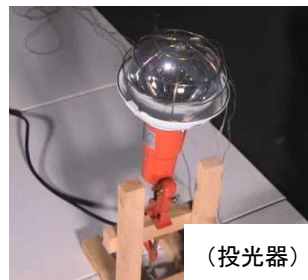
【実験内容】

投光器のライト（白熱電球）部分を可燃物で覆った場合、電球や投光器のガードの温度がどの程度上昇するのかを測定。

【実験条件】

使用するランプ：450W の白熱電球
可燃物：桧（ひのき）かんなくず
（ウッドペーパー）

【設置写真】



(投光器)



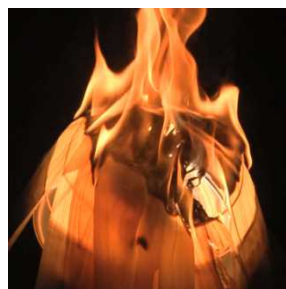
(投光器+桧)

【実験結果】

投光器を点灯してから 25 秒後に発煙（約 250℃まで温度が上昇）し、2 分 5 秒後に発火（約 500℃まで温度が上昇）した。



(25 秒後)



(2 分 5 秒後)